

ビジョンの役割と時間軸について

令和元年11月13日

山梨県

ビジョンの役割等について

■ビジョンの役割

当該ビジョンは、リニアの時間短縮効果によって変わる可能性がある「**住む・働く・交わる**」の3つの視点で、山梨が通過点にならずに人を呼び込むための新たな価値を創造し、県内の良質な**雇用の拡大**、**県民の所得向上**に繋げていく手順を明らかにしていく。

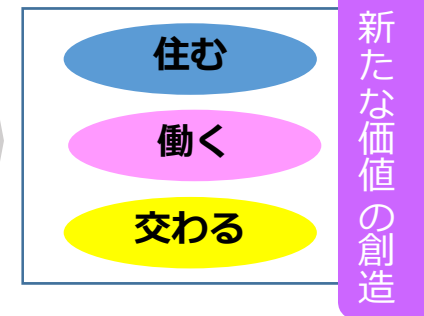
■リニアの可能性を踏まえた検討の進め方

リニア中央新幹線がもたらすインパクト

暮らしに多様な選択肢	時間と場所から人々を解放し、多様な選択肢をもたらすことで、各世代のビジネススタイル・ライフスタイルに変化をもたらす
新たなイノベーション	フェイス・トゥ・フェイスコミュニケーションの機会を増加させるとともに、交流時間が拡大し、新たなイノベーションを生み出す
海外からの魅力向上	高速交通ネットワークとリンクし、訪日外国人旅行者の地方への誘客を更に促進
災害リスクへの対応	東京に集中する人口及び企業の中核機能等の分散や、首都機能をはじめとする中枢管理機能のバックアップ体制の整備に寄与する可能性

出典：スーパー・メガリージョン構想（国交省 令和元年5月策定）より作成

視 点



雇用の拡大
県民の所得向上

■ビジョンのアウトプット（イメージ）

ポテンシャル	→ 現状分析による競争優位性
理由づくり	→ 誘致の実現可能性
誘致方針	→ 誘致に向けて必要となる手順等
基盤整備	→ 当面必要となる基盤整備内容

■想定する時間軸

2040年頃を見据えた長期的な時間軸で構想

※リニア中央新幹線は、2027年の東京－名古屋間の先行開業を目指し、現在計画が進められており、その後、2045年の開業を予定する大阪までの延伸は、財政投融資の活用により最大8年前倒しすることとされている。